

令和3年度第3回岡山県環境審議会廃棄物対策部会 議事概要

(開催要領)

1 開催日時：令和4年2月10日（木） 10：00～11：00

2 場 所：オンライン（Zoom会議）

3 出席者：

○委員（五十音順、敬称略）

阿部宏史、岡本輝代志、内藤はま子、藤原園子、藤原健史
／計5名（欠席2名）

○事務局（県）

循環型社会推進課長、事務局職員

議 題	(1) 第5次岡山県廃棄物処理計画（案）について (2) 報告
会議資料	別添資料のとおり
議事概要	(1) 第5次岡山県廃棄物処理計画（案）について (循環型社会推進課長が資料に基づき説明)
—委員意見— 委 員	<ul style="list-style-type: none"> パブリック・コメントへの意見にもあったが、重点的に取り組む施策が分かりやすいように「重点」マークが記載されている。この他にも「新規」、「拡充」のマークがあるが、概要版も含めて県民の方に分かりやすいように記載した方がよいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り、分かりやすく記載するよう努める。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> パブリック・コメントへの意見を拝見しても、「食品ロス」と「食べ残し」の区別がつきにくいのかなと感じる。「食べ残し」は「食品ロス」に繋がるが、「食品ロス」と「食べ残し」は統計上の数値としては同じではないことについて、計画の中でも説明されているが、繰り返し、様々な場面で説明していく必要があると思う。 計画案の78ページに「農場副産物」という言葉が出てくるが、あまり馴染みがないので資料編に用語説明を追加して欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「食品ロス」と「食べ残し」が同じではないということ、「食品ロス」とは何かということを丁寧に説明していきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「食品ロス」は基本的にはリサイクルなど次に繋がるループを作ることができるが、「食べ残し」はあまり次に繋がらないと考えるので、うまく説明をしていく方がよいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「農場副産物」については用語説明を追加する。 ←「家畜のふん尿」に修正します。(2/16畜産課に確認済)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のパブリック・コメントで、高校生や大学生からも意見が多く寄せられたこと、県の職員と学生さんで意見交換が行われたことはとても良いことだと思う。学びの材料にして、自分のこととして考えるようになることに繋がっていくと思う。 単に計画を策定するだけでなく、それを通じて学びとして横に広がっていき、実際に取り組んでいく若い人達に根付いていくものになると感じた。 ・一般廃棄物の適正処理について、県としては技術的支援等を行うと記載されているが、今回、市町村から困っていることについての意見は寄せられているか。また、市町村や自治会の困り事を県がバックアップしたような事例があるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・我々としても、学びの場としての広がりにも繋がるよう、積極的に情報発信を行っていきたい。 ・今回のパブリック・コメントでは、市町村からの意見はなかったが、一般廃棄物か産業廃棄物かが不明な不法投棄の通報を受けた際などには、県と市町村で一緒に対応する事例はある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリック・コメントへの意見にもあるが、一般廃棄物の関係で各自治体の困りごととして、高齢者のごみ出しがある。外国や他県では個別回収が行われているとも聞く。こういった問題への対処も大切なことだと思う。 ・今回、非常にたくさんの意見が提出され、それに基づく修正もなされているが、うまくまとめられていると思う。また、意見の中にも周知・徹底に関するものがあり、こうした計画の隅々までを県民の方々が見ることはないかもしれないが、「食品ロス」や「海ごみ」といったキーワードは浸透してきており、周知が進んできたことがパブリック・コメントでの意見の多さにも現れているのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな修正はなかったように思うので、若干の修正は部会長と事務局が調整し取りまとめて、修正後案で環境審議会長に報告するということがよいか。 (委員からの異議なし)

<p>— 委員意見 —</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>(2) 報告（令和4年度当初予算要求内容について） （循環型社会推進課長が資料に基づき説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金積立金の予算が減っている理由は、何か特別な施策に使ったのか、それとも産業廃棄物処理税収が減っているのか。 ・後者である。産業廃棄物の量は経済活動と連動する部分があり、過去のリーマンショックの際にも産業廃棄物処理税収が減ったが、今回、コロナによる経済活動の停滞の影響もあると考えている。 ・海ごみの関係では、県内には3大河川があり、それぞれの流域市町村の連携ということで連携中枢都市圏という枠組みがあるが、そこに対する県からの情報提供・共有といったことは考えているか。 ・海ごみ対策については、河川を通じて流れ込むごみが大半を占めていることから、流域ごとに河川での対策が重要であると考えており、連携中枢都市圏ではないが27市町村と一体となって「海ごみ対策連絡調整会議」を設置し、議論を行っている。 <p style="text-align: right;">以上</p>
-----------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------